



# 食協中部

2026年5月20日  
(第 31 号)

発行：(一社) 沖縄県食品衛生協会 中部支部  
〒904-2155 沖縄県沖縄市美原 1-6-28  
☎(098) 938-1835 (FAX 兼用)

## 全国大会開催

去った十月十五日(水)  
から十七日(金)までの二  
泊三日の日程で、令和七年  
度第六十四回食品衛生指導



▲全国大会に参加した沖縄県食協の代表者たち

員全国大会へ参加出席しました。本大会では、食品衛生のいつそうの向上を図り、国民に提供する食の安全と健康の増進に寄与した方々が表彰されます。会場は、台東区浅草にあります。「浅草公会堂」にて「第六十四回食品衛生指導員全国大会」が開催され第一部は、食品衛生指導員体験発表が、各都道府県のブロック代表の十二名の方々が、持ち時間約六分を自分が体験したことを述べていました。残念ながら、今回は、沖縄県からの選出はありませんでした。

第二部は、食品衛生指導員理事長表彰があり、沖縄県からは三名の理事長表彰を受けられました。

二日目は、場所が明治座に移りまして、食品衛生功労者・食品衛生優良施設等表彰式がありました。

沖縄県の受賞者は、(公益社団法人) 食協会長表彰が四人、厚生労働大臣表彰が二人、受賞されました。

▼高江洲章氏が去る十二月三十一日、大晦日にお亡くなりになりました▼現役のバリバリの活動家が急逝し、ご家族や私たちも驚いております▼食品の安心安全の推進役で、復帰三回目の沖縄大会では、実行委員の中心で活躍しました▼一緒に沖縄のパワースポットも拝願して巡りました▼とても敬虔な沖縄の「ウガマー」の一人でした▼この人が頑張る限り、沖縄の「ウガミ」は大丈夫と信じていたのに「生まりーねーちゅうしんちゅう」と彼の言葉です▼言うことがありません▼残された者が力をあわせて、沖縄の神々をあがめて守っていきましょう▼目に見えないバイ菌と闘うには、やはり目に見えない力が必要なのかもしれませぬ。心よりご冥福をお祈りいたします。(源心)



# 九州ブロック大会 福岡市にて開催



▲九州ブロック大会の様相 (福岡市)

去った七月三日(水)から五日(土)二泊三日の日程で、今回の開催地であり

ます「福岡県福岡市」にて、「第六十六回公益社団法人

日本食品衛生協会九州ブロック大会」へ参加出席するため空路福岡入りしました。

空港到着後、まずは昼食会場へバスで移動し、昼食後に開催場所である福岡市内の「ソラリア西鉄ホテル

福岡」へと向かいました。会場に着くとまず受付を済ませ、沖縄県の指定席へ各自向かいました。午後三時より、「第六十六回公益社団法人日本食品衛生協会九州ブロック大会」が始まり、開会の言葉から、表彰、来賓祝辞、祝電披露、特別講演とプログラムが進行し、次に九州沖縄ブロック代表二名(鹿児島県支部代表・宮崎県支部代表)の食品衛生指導員体験発表がありました。私(中田政文)も、九州沖縄ブロック代表として平成三十年に「北九州国際会議場」で発表した事を思い出しました。あの時の緊張は、今まで経験したことのないドキドキと緊張で言葉を発するのが大変でした。

今回体験発表された方々は、すぐく素晴らしかった。来年は、宮崎県での開催になります。

来年参加出席される方々は、楽しみに期待して下さい。

活動の支援などを取り組みました。午年生まれの年日(トウシビー)を前に逝去され、残念でなりません。

後任は、北地区の地区長の中田政文氏が、地区長会から推薦され理事会の議を経て就任しました。

大変な時期に、大変だと思いますが、中田氏にも、頑張っていただきたいと思っています。

去る十二月三十一日の大晦日の日、高江洲専務が急逝されました。心筋梗塞で一時回復したものの急に悪化して急逝されました。

食品衛生協会の中部支部のみならず、県本部や北部支部の支援などにも関わり

中心的な活動をして来ました。積極的に巡回指導にも

かわわり、特に、出店業の衛生指導、催事の食の安全に力を入れ、出店業組合の

食協への参加を精力的に取り組みました。指導員の互助会組織のたち上げ、地区

高江洲専務急逝

後任は中田政文氏選任

後任は、北地区の地区長の

中田政文氏が、地区長会

から推薦され理事会の議

を経て就任しました。

大変な時期に、大変だ

と思いますが、中田氏

にも、頑張っていただ

きたいと思

っています。

# 九州ブロック大会へ参加して

新垣 美枝子・新垣 栄子

七月初旬、宜野湾・北中・中城地区より三名の会  
員で参加致しました。指導  
員として日々頑張っている  
九州地区の方との交流、意  
見交換ができるかと初参加  
の二名は少々期待していま  
したが、一日のみの大会で  
は難しいと理解しました。  
体験発表の二名の方の活  
動と考え方にも同意でき、  
指導員の在り方など広報の  
仕方もとても勉強になりま  
した。来年度への要望は、

他地域の活動の様子など五、  
十分ほどビデオ等で紹介し  
てほしいと感じました。ホ  
テルでの懇親会では大先輩  
方のパワーに圧倒され、私  
達十数年の活動ではまだま  
だ若輩者と実感しました。  
沖縄県内から参加された指  
導員にお会いでき、意見の  
交換が巡回時の相談にも笑  
いとばしながら答えてくれ  
た先輩方に会えて、楽しい  
懇親会となりました。  
沖縄に食品衛生協会の支

## 指導員として七年度

宜野湾地区 大城 一樹

今年で七年度となる食品  
衛生指導員活動を通して、  
食の安全は多くの人の努力  
によって支えられているこ  
とを実感いたしました。飲  
食店の訪問では、記録簿の  
記載に悩む方々に、優先順

部ができたときの巡回の苦  
労を聞き、現在の基礎を  
作った先輩方へは感謝しか  
ありません。  
これからも私達指導員は  
講習会などを受け、日々勉  
強し「食の安心・安全」を  
お店、地域に伝えながら巡  
回を続けていきたいと思っ  
ます。改めて指導員が巡回  
する大切さを学んだ九州ブ  
ロック大会でした。勉強す  
る機会を与えてくださった  
地区の皆様には感謝致します。

をされてきました。この事  
を思い、未然に防ぐ対策な  
ども力を入れて行きたい  
所存でございます。まだま

だ先ですがこれからの活動  
に対しご指導ご鞭撻を頂き  
たく思います！

## ゆいまーる

宜野湾地区 池宮城 秀英

私が食品衛生指導員とし  
て活動するようになってか  
ら七年になり、地域の衛生  
管理に対する責任と使命感  
を強く感じるようになって  
しました。

最初の頃は『指導』とい  
う言葉の重さに戸惑いもあ  
りましたが、屋台の方々が  
真剣に耳を傾け、改善に取  
り組んでくれる姿を見て、  
次第に自信とやりがいが生  
まれていきました。

私は沖縄県出店事業協同  
組合の会員として県内各地  
で開催されるお祭りやイベ  
ント会場を巡回し、屋台の  
衛生指導を行っています。  
今回は、沖縄県食品衛生協  
会中部支部の巡回活動を通  
じて感じたことをまとめま  
した。

ある夏祭りでの出来事が  
特に印象深い。多くの観光  
客や家族連れで賑わう会場  
を巡回中、ある店舗で保冷  
剤が溶けかけており、食材  
の温度管理が不十分な状況  
に気づきました。忙しさの  
あまり手が回っていなかつ  
たようで、店主は不安そう  
な表情を浮かべていました。  
私はただ注意をするのでは  
なく、どのように改善すれ

感心いたしました！今回の  
体験を通して、食品衛生は  
「見えない安心」をつくる  
仕事だと理解し、日常でも  
衛生意識を高めていきたい  
と思います。四十代を超え  
て新しい新人研修員の育成  
などにも力を入れていきたく  
いと思います！近年では食  
中毒の被害が多く出てきて  
おりメディアなどにも好評

夏場のイベントは、特に  
食中毒のリスクが高く、出  
店者の皆さんも緊張しなが  
ら準備を進めています。私  
たち指導員は、手洗い設備  
の確認、食材の保冷状況、  
器具の消毒、提供方法など、  
(四頁に続きます)

## 指導員になつて

宜野湾地区 新垣 栄子

十年前、知人より食品衛生指導員にならないかの一言から始まった指導員活動ですが、始めは何をするかも分からないまま研修会を受け、食品衛生指導員としてスタートしました。

最初は食品衛生指導員として、指導する責任、知識もないまま先輩方の巡回と一緒に歩いていくことしかできませんでした。巡回の様子を見ることから始まり、お店の方とコミュニケーションを取りながら自主衛生管理を推進し、アドバイスを行うのは一日に数十件しか巡回できないことを目

の当りにして大変地道な活動だなど自信喪失の繰り返しの中でした。研修会で学んだことをお店の方へ伝え、指導できるよう勉強しなければ、巡回活動はできな

いと強く感じるようになりました。普段は別の仕事をしているため、私の担当地区の巡回は土日にあるイベント出店の巡回が主になります。十数年前に巡回した際に比べて、現在の衛生管理は出店業者の方へも食の安心、安全をお客様へ届けるためには何をすべきかなど、指導員の先輩方のおかげで食協の考え方が浸透し

ていると感じました。

巡回です。と声をかけるのと、お疲れさまの言葉で巡回へ協力していただけるようになりました。食協活動の中では変化もありHACCPの考え方を業者やお店の方へ伝えていくこと、まずは私達指導員が勉強しなくてはいけないと日々巡回をとおして痛感しています。指導員の勉強会、研修会をできれば土日にもやっ

（二頁からの続きです）

ばリスクを下げられるか、保冷方法の工夫や作業動線の見直しを一緒に考えました。すると店主は安心した表情で「教えてくれて助かった」と笑顔で応えてくれました。そのとき、指導員の役割はただ注意をする人ではなく、支える人なのだと感じました。

また、巡回指導を重ねるうちに、同じ出店者の皆さんと顔なじみになることが増えました。「今年もよろしくお願いします」「去年教えてくれた方法すごく良かったです」と声をかけて頂くこともあります。地域のお祭りを安全に楽しんでもらう為に、現場で一緒に

努力している仲間のような感覚が生まれ、その関係性は私の活動の大きな励みとなっています。

食品衛生指導の現場は、決して華やかではないし、時には厳しい判断を求められることもあります。しかし、自分の助言や指導が事故防止に繋がり、多くの人が安心して食を楽しめる環境づくりに貢献できることは、大きな喜びとなっています。これからも食品衛生協会中部支部の一員として、そして沖縄県出店事業協同組合の会員として、地域の食の安全を守るために力を尽くしていきたいと思っております。ご清聴いただきありがとうございます。ありがとうございました。

## 追悼

私は、高江洲章氏が専務に就いた時に支部長を引き受けました。支部には、あなたがふさわしいので後輩を助けてい

ただきたいと懇願されたのだ。それまで私は副支部長であった。比嘉専務と具志堅支部長が県本部の会長及び専務に専念しないといけないので、中部支部も支部長と専務を決めないといけないと言うのだ。次の支部長を早く決める約

束で若い専務を補佐するのが私の役割であった。引き受けたものの全ては、高江洲氏の采配であった。彼は、約束通り、次の支部長をさがして、一早く引き継ぎの段取りをつけてくれた。まさか、こんなに早く、年寄り達

を残して逝ってしまうとは、夢にも思わなかった。食協活動が、一番活発であるのは、比嘉専務のお陰であるが、高江洲専務は、指導員共済を立ち上げ、指導員活動で起きる様々な事故を救済する活動保

活発に行える様に各地区への交付金の道すじをつけてくれた。中部支部の創設に多大な影響を与えた熊本県の上益城支部への百万円救援金は、彼の発案によるものです。心から哀悼の誠をささげます。

(内間秀太郎)